

# 啓伸塾 便り

5月(皐月)  
May

ひとりひとりを大切に  
ただ今、五月入塾生受付中  
啓伸塾

人生一〇〇年学び直し(リスニング)について考える  
入試に向け、中学一・三年のみならず是非とも読みたい一冊です。

人生一〇〇年、社会に出てから六〇歳から七〇歳で定年退職して、その後、ボランティア活動でなく、働くことによって社会参加するのに必要な「リスニング」です。

第二の人生、新たな人生を生きていくのに必要なことです。

多くの人は、「独学は難しい」と思い込んでいます。社会人になってから勉強する場合にも、学校に通って講義などを受ければ自動的に知識が身につくけれど、独学ではそれはなかなかできません。

独学では、何を学ぶべきかというカリキュラムを自分で作る必要がありますが、それは大変だと考えます。あるいは、勉強を続ける強制力が働かないため、途中でキブアップしてしまうのではないかと、心配になります。

ただし、「独学より学校がよい」という考えは、多くの場合、長所・短所を深く考えた末の結論ではありません。「勉強とは、学校に通って教室に座り、先生が教えることを聞くことだ」という学生時代からの習慣を引きずり、「独学で学ぶ」という選択肢を、最初から考慮していない場合が多いのです。

次のような意見もあるでしょう。「世界中には独学ができる人としていない人がいて、独学ができる人は、人から言われなくても独学する。それに対して、独学できない人は、いくら独学を勧めても、その能力がないから、できない」

しかし、これらの考えは間違っています。すでに述べたように、「独学では勉強できない」というのは、単なる思い込みであり、その考えを変えるチャンスに恵まれてこなかっただけのことです。

独学の大きな利点は、自分の事情に合った勉強が出来るということです。自分に必要なものだけを重点的に、また、自分の都合の良い時間に学ぶことができます。

## 中学1年生のみなさんへ

中学に入学し3週間が経とうとしています。少しずつ学校にも慣れてきたことと思います。中学校は、小学校と違い、評価が厳しいです。

持ち物や提出物を忘れないようにして下さい。定期テストでよい点数を取っても、提出物を出していないだけで、驚くほど厳しい評価になったりします。提出物、宿題が、「ない」のではなく「聞いていない」にならないようにしていただきたいと思います。通知表の評価は、内申点として高校入試に関わります。

## 小学5,6年生のみなさんへ

5・6年で習うことは、どの教科も中学の勉強の土台です。特に、5・6年生の算数で習う「割合、百分率、速さ」の問題は、絶対に理解してもらいたいです。これらの単元は、方程式・関数として高校入試に必ず出題されます。塾の授業の復習テストで、問題の意味を理解する力を養うためにも、繰り返し問題演習をしています。

よく、中学でそんなに勉強していないのに、よい点数を取ってくる子がいますが、そのような子は、きまって小学校5・6年でしっかりと勉強してきた子です。自分で勉強する習慣がついているので、親がうるさく言わなくても自分で勉強します。しかし、勉強の習慣がつくまで(小学校5・6年が大切)は、親がそのしつけをしなければなりません。

## 国語力アップについて

計算力に加えて、国語力も鍛えたいです。「わくわく文庫講座」は「読む」「考える」「書く」の国語力アップに効果があります。随時無料体験を行っています。お気軽にお問い合わせください。

## 5月の予定

5月3日(水)・4日(木)・5日(金)(いずれも祝日)は、塾の授業をお休みします。

中学定期テスト対策 6月上旬の土・日で中学校別に定期テスト対策を行います。詳しくは、後日別紙にてご連絡いたします。

漢字検定の日程 本年度第1回の漢字検定は、6月24日(土)に行います。詳しいご案内は後日お渡します。締め切りは、5月19日(金)です。

※5月8日(月)・11日(木)各中学3年生は実力テストがあります。このテストは学校の進路指導の資料になる重要なテストです。塾では、通常授業と並行して実力テストの勉強もしてきました。そして、過去問題もお渡ししています。休みの期間中に是非ともこの問題に(時間内に出来るように)取り組むと同時に、3月に行いました塾の実力テストの復習もしましょう。これが学校の実力テスト対策になります。また、中学1、2年の内容ですから、学校・塾のワークを利用してください。  
**塾の実力テストの結果は岐阜県下の平均点・志望校の目標点数と一緒にお渡ししました。ご確認をお願いします。**

初等教育での教育内容は、誰にとっても必要なことであり、社会に入るための最低必要条件です。しかし、社会人になってからの勉強では、学ぶべき内容や条件が人によって大きく異なります。「何をどれだけ知ればよいか」は、人によってさまざまで、この点が、学校教育の場合と大きく違います。

したがって、「さまざまなことについて」広く浅く「勉強するのであれば」「知ることによって無知を絞って」勉強する必要があると思います。

以上、引用

先生に教えてもらう受け身の学習から、今の自分に何が必要で、何を勉強しなくてはならないかを考え、その考えたことを実行できる力を中学時代に養いたいものです。

教えてもらう勉強から、自ら進んでやる勉強の姿勢、これが、将来、独学するのに役立つ力だと考えます。言い換えれば、それは、「独学力」です。

高校入試の受験勉強は、この「独学力」を養う絶好のチャンスです。今まで、学校で習ったことで、自分には、何が足りなかったか、入試には、何が必要かを自分で考え、それを見つけ、実行する。まさに、これには「独学力」が必要です。

高校入試に正面から立ち向かった子は、大きく成長し、社会でたくましく活躍しています。

そのような卒業生を見ていると、

学歴よりも大切なのは「独学力」です。「独学力」が身についた子は、社会に出てからも、どんどん勉強し、社会に貢献できる立派な大人になることだと思います。

常に、学ぶ気持ちを持って仕事に向かうことが大切です。

啓伸塾の塾生のみなさんには、「独学力」を、高校受験を経験することによって身につけ、将来、おおいに活躍できる大人になってほしいです。それを願っています。